

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月31日

計画の名称	元町らしさを活かした再整備【第2期】												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	浦安市												
計画の目標	堀江・猫実B地区土地区画整理事業が平成26年度に事業完了し、「堀江と猫実を結ぶ主要な生活道路をつくる」目標は概ね達成されたが、引き続き、駅から徒歩10分程度と利便性が高い静かな低層住宅地や境川を中心としたまちを形成といった元町らしさを活かしつつ、地震時等に著しく危険な密集市街地の解消、広域避難場所である浦安小学校への避難経路の構築による防災性の向上と未接道宅地や狭あい道路・下水道の整備改善による住環境の向上、主要生活道路の歩車分離による交通安全の向上を図ることで、「災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくる」ことを目指し、元町の再整備を進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,367	A	2,367	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	地震時等に著しく危険な密集市街地を解消した面積の割合を15%(H26)から24%(H33)に増加させる。 地震時等に著しく危険な密集市街地の解消された面積を算出し、全体にしめる割合を算出する。 (危険密集市街地解消率) = (解消した危険密集市街地面積) / (当初の危険密集市街地面積)	15%	15%	24%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	浦安市	直接	浦安市	-	-	猫実A地区土地区画整理 事業	都市再生区画整理 1.4ha	浦安市						2,367	1.19	-
											小計						2,367		
											合計						2,367		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
浦安市都市政策部まちづくり事務所において、事後評価を実施	令和5年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地震時に著しく危険な密集市街地を解消した割合が23%に増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	猫実A地区土地区画整理事業の進捗により、住環境の改善が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
整備計画の期間内に完了しなかった整備工事を令和4年度に新たに策定した整備計画にて実施することとした。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	24%
	最終実績値	23%
		権利者の移転の遅れや関係機関との協議に時間を要し、整備計画の期間内に完了しなかった整備工事を令和4年度に新たに策定した整備計画にて実施することとしたため